

2021年7月6日



News Release

一般社団法人 日本メディカルスポーツ協会

特別顧問に王貞治氏

北島初代代表理事と親交、JML大会に弾み

一般社団法人日本メディカルスポーツ協会（代表理事・林諄）の特別顧問に、新たにプロ野球・福岡ソフトバンクホークスの王貞治取締役会長が就任することになりました。同協会は医療従事者を対象とした全国規模の野球大会「東久邇宮杯争奪 第1回ジャパンメディカルリーグ（JML）軟式野球大会」の開催準備を進めており、王会長の就任に伴い、医療とスポーツ両面から大会を支える体勢が整うこととなります。

現役時代、通算本塁打868本を記録した王会長は、長嶋茂雄氏とともに「ON砲」を形成し巨人のV9（9連覇）に貢献しました。引退後は巨人、ダイエー・ソフトバンクで監督を歴任。ダイエー監督時代に2度の日本一に輝いたほか、2006年の「第1回ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）」では日本を初代チャンピオンに導きました。08年シーズン後に監督を退任し、球団取締役最高顧問を経て09年から現職。国民栄誉賞の第1号受賞者（1977年）としても知られています。

王会長は日本メディカルスポーツ協会の初代代表理事を務めた北島政樹・元慶應義塾大学病院長（2019年5月逝去）と深い親交がありました。同協会には林代表理事を含め、17人の理事がおり、顧問は中川俊男氏（公益社団法人日本医師会会長）に次いで王会長が2人目となります。JML大会は来年4月から10月にかけて、全国8地区でブロック予選を行い、勝ち上がった計32チームが決勝トーナメントに進出。11月に首都圏のプロ野球開催球場で決勝を行う予定になっています。

王貞治（おう・さだはる） 1940年生まれ。東京都出身。早稲田実業高から59年に巨人入り。「一本足打法」で本塁打を量産し62年、初の本塁打王に。以降13年連続を含む15回の本塁打王を獲得した。80年限りで現役を引退し、94年に野球殿堂入り。本塁打王以外の主なタイトルはMVP（最優秀選手）9回、首位打者5回、打点王13回

お問い合わせ

一般社団法人 日本メディカルスポーツ協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-GATE 八丁堀9階

TEL：03-3553-2893 携帯：070-4453-8070（担当：仁瓶）